

2026年5月22日

各位

SBIいきいき少額短期保険株式会社

“終活・葬儀”に関するアンケート調査（2025年度）を実施

取り組んでいる“終活”、これから心配な“終活”、第1位はともに「物の整理・片付け」
実際にかかった葬儀費用は「100万円以下」が約4割

SBIいきいき少額短期保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：採田 祐治、以下「当社」）は、“終活・葬儀”に関するアンケート調査を実施し、全国の50歳以上の男女1,012名の方から回答を得ました。“終活”に関する調査は5回目、“葬儀”に関する調査は3回目となり、このたび同時に調査をおこなったものです。概要は以下のとおりです。

【調査結果のまとめ】

今回の調査では、“終活”の必要性を感じている人は約8割にのぼる一方、実際に取り組んでいる人は、そのうち3人に1人とどまり、意識と行動の間にギャップがあることが明らかになりました。終活に取り組む背景には、「万が一のときに家族に迷惑をかけたくない」という思いが強く表れています。

また、自身の葬儀にかけたい費用は、実際にかかった葬儀費用よりも低い水準を望む傾向があり、葬儀の形式や葬送方法についても、より簡素で多様な選択を望む傾向がうかがえました。

自身やご家族にもしものことが起こったときのために、事前にお互いの希望などを話し合っておくと心の準備につながります。この機会に話し合ってみてはいかがでしょうか。

【アンケート調査結果のサマリー】**①終活について**

■約8割の人が“終活”の必要性を認識しているにもかかわらず、行動に移しているのは、そのうち3人に1人という実態が浮き彫りになった。

■終活に取り組むきっかけとして最も多かったのは、「万が一のときに家族に迷惑をかけたくないから」が79.8%。次いで「身の回りのことを整理しておきたいから」が71.3%となり、終活は“自分のため”というよりも「家族への配慮」から始まっていることが読み取れる。

■終活で「すでに取り組んでいること」「心配・気になっていること」の両方で、第1位となったのは「物の整理・片付け」。終活実施者の84.4%が既に着手している一方、未実施者の78.8%が不安を感じており、“終活＝片付け”という認識が広く定着していることが明らかになった。

■実際に「物の整理・片付け」に取り組んだ人のうち、約7割が「自分一人でおこなった」と回答しており、専門業者に依頼するケースは1.3%と少数派だった。「体力と気力があるうちに」「日常的に少しずつ」進める人が多く、終活の片付けは特別な準備ではなく、生活の延長としておこなわれていることが明らかになった。

②葬儀について

■ご自身または配偶者・パートナーが喪主として執り行った葬儀費用は「51～100万円」が22.9%で最多となり、次いで「101～150万円」が21.8%となった。この結果から100万円程度の備えをしておく心安心できる水準であることがうかがえる。

一方、自分自身の葬儀に費用については「100万円以下」を希望する人が8割を超えており、実際に経験した葬儀費用よりも低い水準を希望する人が多数派となっている。このことから、「経験した葬儀費用」と「自分が望む葬儀費用」との間には、意識のギャップが存在することが明らかになった。

■実際に執り行われた葬式の形式では、「一般葬」53.9%、「家族葬」42.6%と、現在はまだ一般葬が多数派となった。一方、自身が希望する葬式の形式では「家族葬」が53.4%で最多となり、「一般葬」の10.2%を大きく上回った。葬儀は「多くの人を呼ぶ場」から、「身近な人だけで行う場」へと価値観がシフトしているといえる。

■葬送方法についても同様に変化が見られ、実際の葬送では「先祖代々のお墓」が72.9%で最多であるのに対し、自身の希望では、「先祖代々のお墓」は38.3%と4割程度になり、全体の半数以上が、樹木葬・納骨堂・合祀墓・海洋葬といった“新しい葬送”を希望している。

葬送の形式は簡素化・個別化・多様化が進んでいる実態が読み取れる。

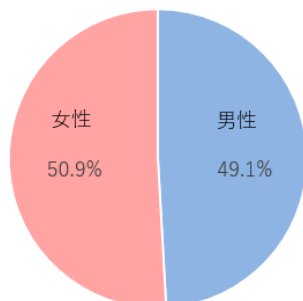
【アンケート調査の概要】

項目	内容
タイトル	“終活・葬儀”に関するアンケート調査
調査期間	2026年2月20日～2月27日
調査対象	全国の50歳以上の男女
調査方法	インターネットリサーチ
有効回答数	1,012名
実施会社	株式会社ジャストシステム

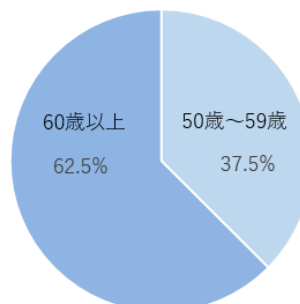
※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。

【アンケート回答者属性 (n=1,012)】

男女別の割合



年齢別の割合



【会社概要】

会社名： SBIいきいき少額短期保険株式会社

会社紹介： 当社は、東証グロース市場上場「SBIインシュアランスグループ（株）」のグループ会社です。「シンプルでわかりやすく」「保険料は手ごろに」というお客さまの声に応える保険商品を開発・提供しています。死亡保険、医療保険、介護保険はシニア層を中心に支持され、いきいきとした毎日を送れるよう保険商品を通じて安心とやすらぎを提供し、お客さま一人ひとりのより良い人生を応援します。

所在地： 東京都港区六本木1-6-1

設立年月日： 2007年7月3日

資本金： 2億8,600万円

事業内容： 少額短期保険業 [関東財務局長（少額短期保険）第8号]

URL： <https://www.i-sedai.com>

<本件に関するお問い合わせ先>

SBIいきいき少額短期保険株式会社 経営企画部 企画グループ

TEL：03（6856）4536 E-mail：ikiiki_pr@i-sedai.com

【別紙】“終活・葬儀”に関するアンケート調査 結果の詳細

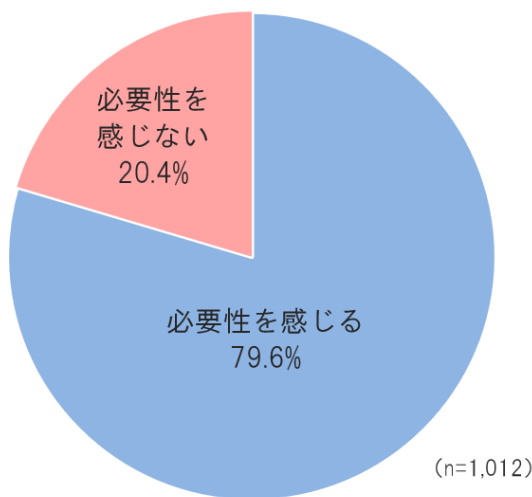
※本表は、有効回答者を対象に集計しています。設問により回答者数（n）が異なります。

■終活について

①“終活”の必要性

●“終活”の「必要性を感じる」人が約8割となった。

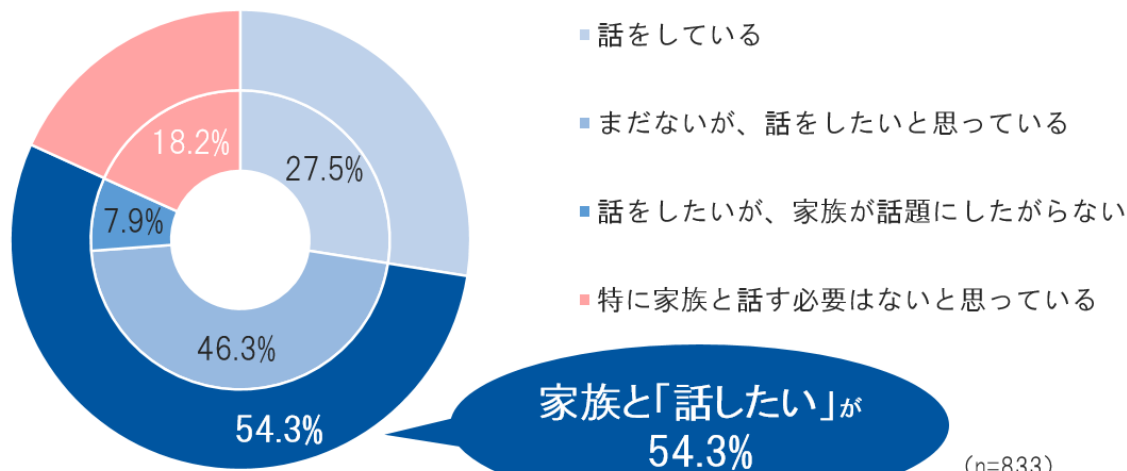
あなたは“終活”の必要性を感じますか？ [単数回答]



② “終活”に関する家族との会話

●家族と「話している」人は約3割にのぼり、すでに家族間での対話が始まっていることが分かった。加えて、「話したい」と考える人が54.3%と過半数を占めており、終活の話し合いが家族の中で広がっていく可能性が高いと言える。

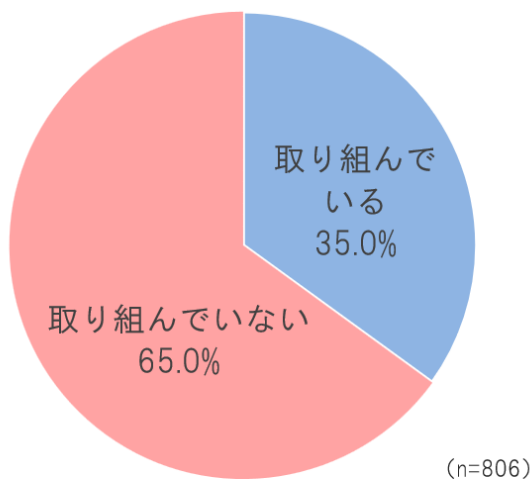
“終活”について、ご家族と話をしたことはありますか？
今の状況に最も近いものを選んでください。 [単数回答]



③“終活”への取り組み状況

- 前回調査時は“終活”に「取り組んでいる」は4人に1人という結果だったが、今回調査では、“終活”の「必要性を感じる」人の中で、3人に1人が取り組んでいる結果となった。

あなたは“終活”に取り組んでいますか？ [単数回答]

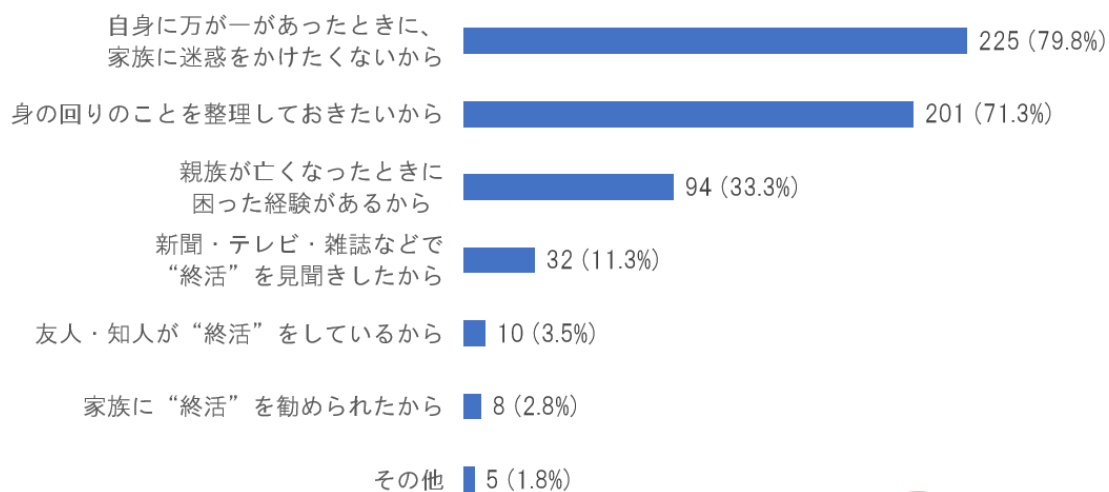


SBI いきいき少短

④“終活”に取り組もうと思ったきっかけ

- “終活”に「取り組んでいる」と回答した方に「きっかけ」をうかがったところ、「家族に迷惑をかけたくないから」が79.8%で最多となり、次いで「身の回りのことを整理しておきたいから」が71.3%となった。
- 「親族がなくなったとき困った経験があるから」が33.3%と、自身の経験も取り組むきっかけになっている。

“終活”に取り組もうと思ったきっかけ・理由は何ですか？ [複数回答]

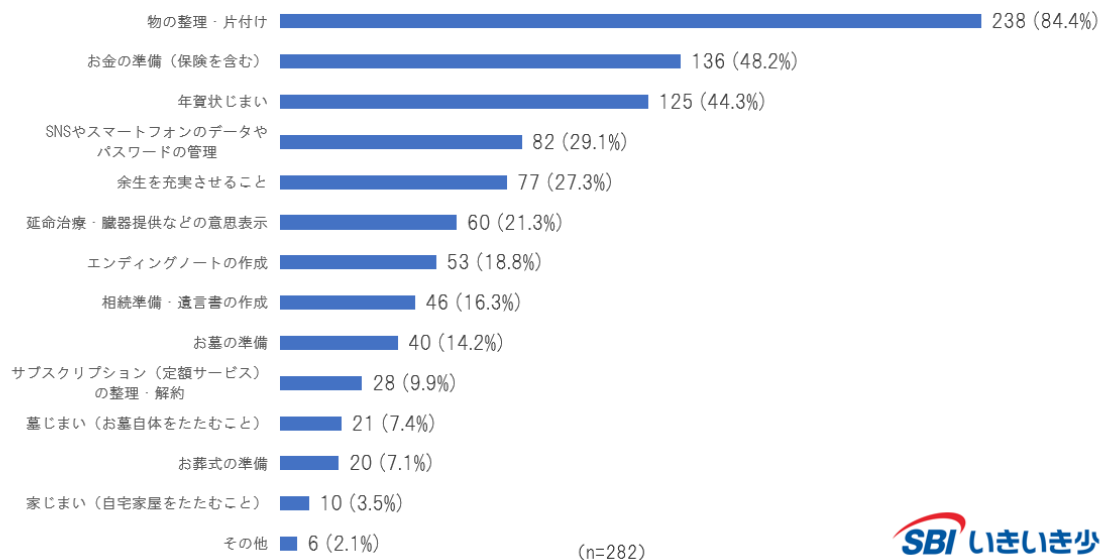


SBI いきいき少短

⑤ すでに取り組んでいる“終活”

●“終活”に「取り組んでいる」と回答した方に、すでに取り組んでいることをうかがったところ、第1位は「物の整理・片付け」で8割を超える結果となった。

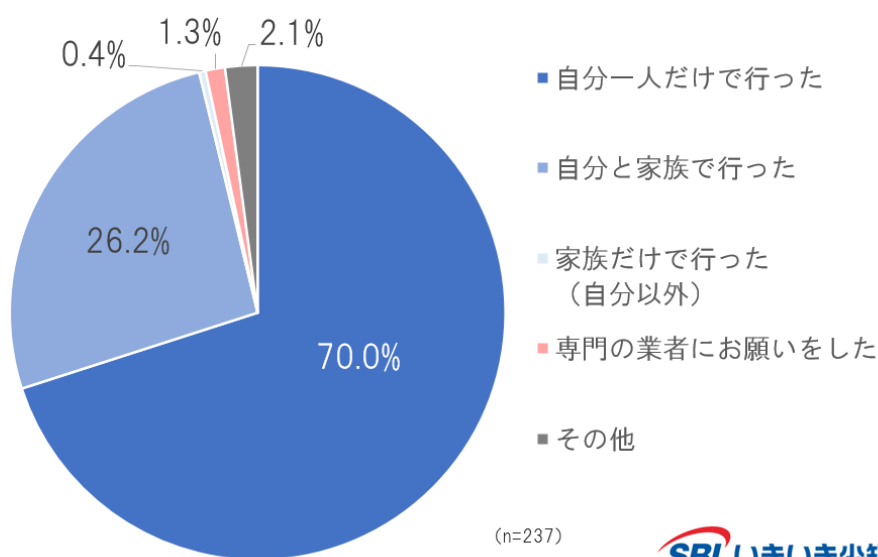
すでに取り組んでいる“終活”は何ですか？ [複数回答]



⑥ 「物の整理・片付け」の実施方法

●すでに取り組んでいる“終活”で、「物の整理・片付け」と回答した方に、実施方法をうかがったところ、「自分一人で行った」が最多で約7割となり、次いで「家族とともに」は4人に1人となった。

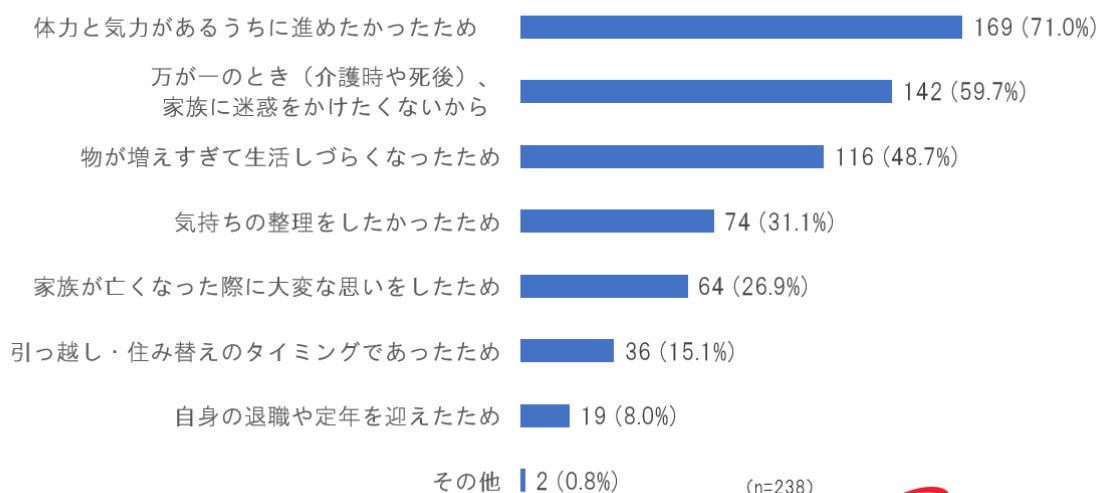
物の整理・片付けは、どのように行いましたか？ [単数回答]



⑦「終活」として「物の整理・片付け」に取り組んだ理由

●すでに取り組んでいる“終活”で、「物の整理・片付け」と回答した方に、理由をうかがったところ、「体力と気力があるうちに進めたかった」が最多で約7割となり、次いで「家族に迷惑をかけたくない」が約6割となった。

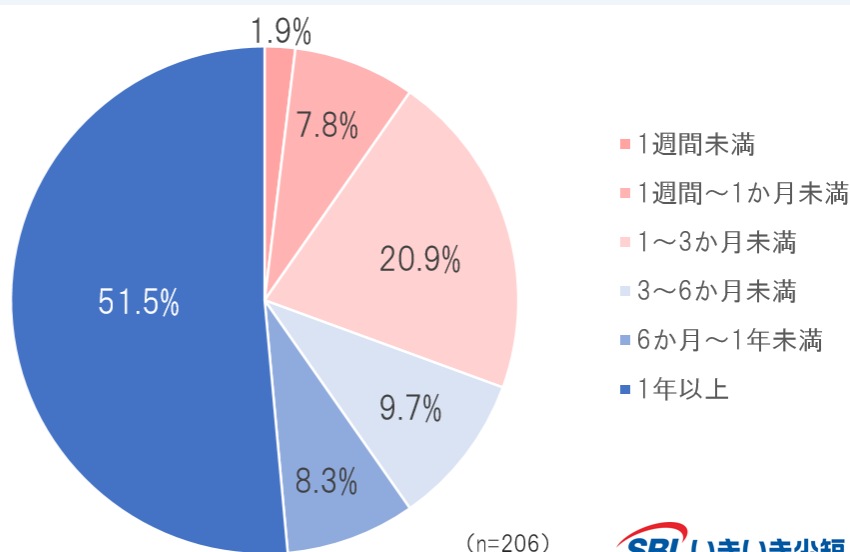
“終活”として「物の整理・片付け」に取り組んだのはなぜですか？ [複数回答]



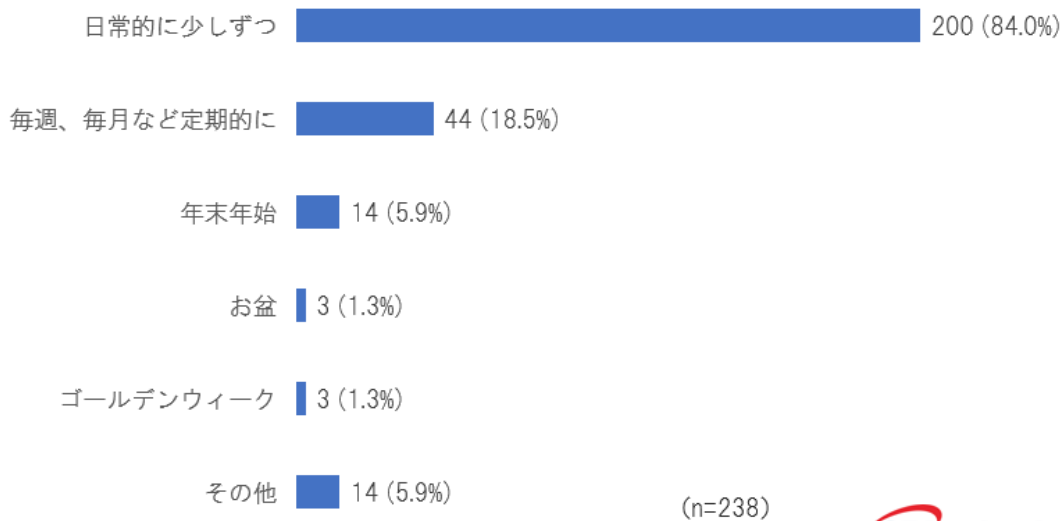
⑧「物の整理・片付け」にかかった期間・時期

●すでに取り組んでいる“終活”で、「物の整理・片付け」と回答した方に、かかった期間・時期をうかがったところ、最多は「1年以上（51.5%）」であり、日常的に少しずつ取り組む傾向にある。

物の整理・片付けにかかった期間はどれくらいですか？ [単数回答]



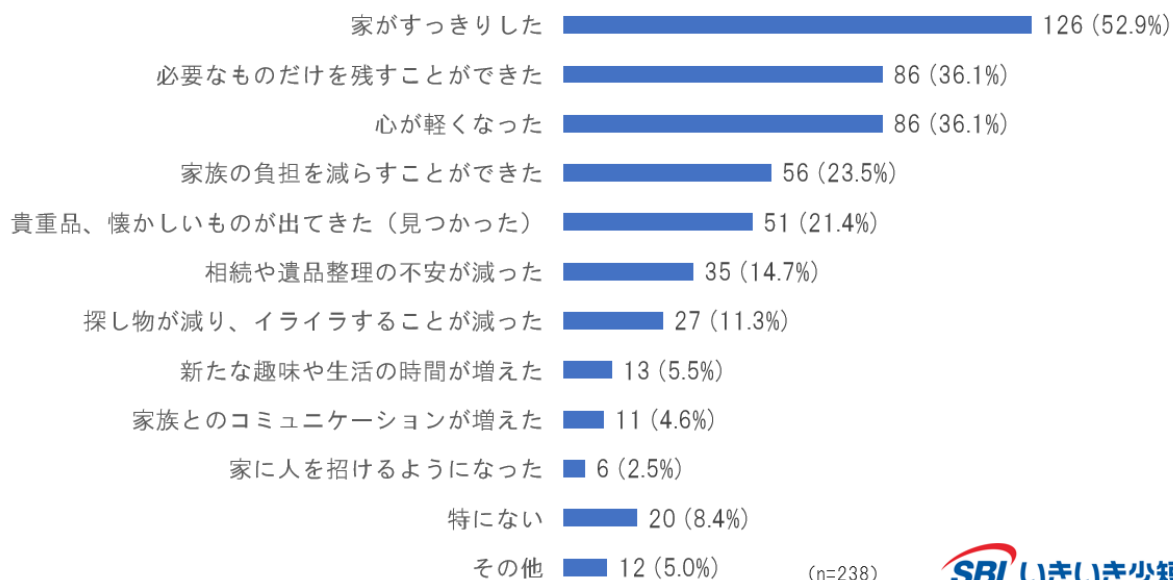
物の整理・片付けをした時期として当てはまるものを教えてください。 [複数回答]



⑨「物の整理・片付け」をしてよかったこと

●すでに取り組んでいる“終活”で、「物の整理・片付け」と回答した方に、よかったことをうかがったところ、最多は「家がすっきりした」で、5割超となった。

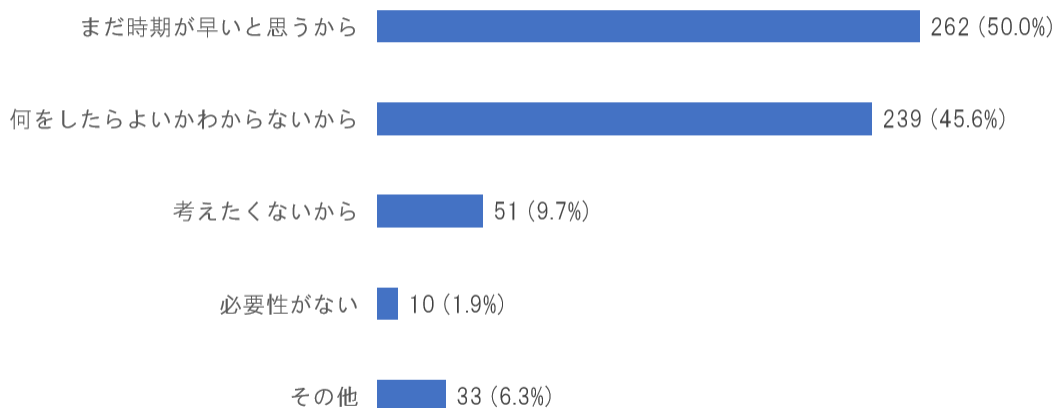
物の整理・片付けをしてよかったことを教えてください。 [複数回答]



⑩“終活”に取り組んでいない理由

- “終活”に取り組んでいないと回答した方に、理由をうかがったところ、「まだ時期が早いと思うから」「何をしたらよいかわからないから」がいずれも約5割となった。

“終活”に取り組んでいない理由は何ですか？ [複数回答]

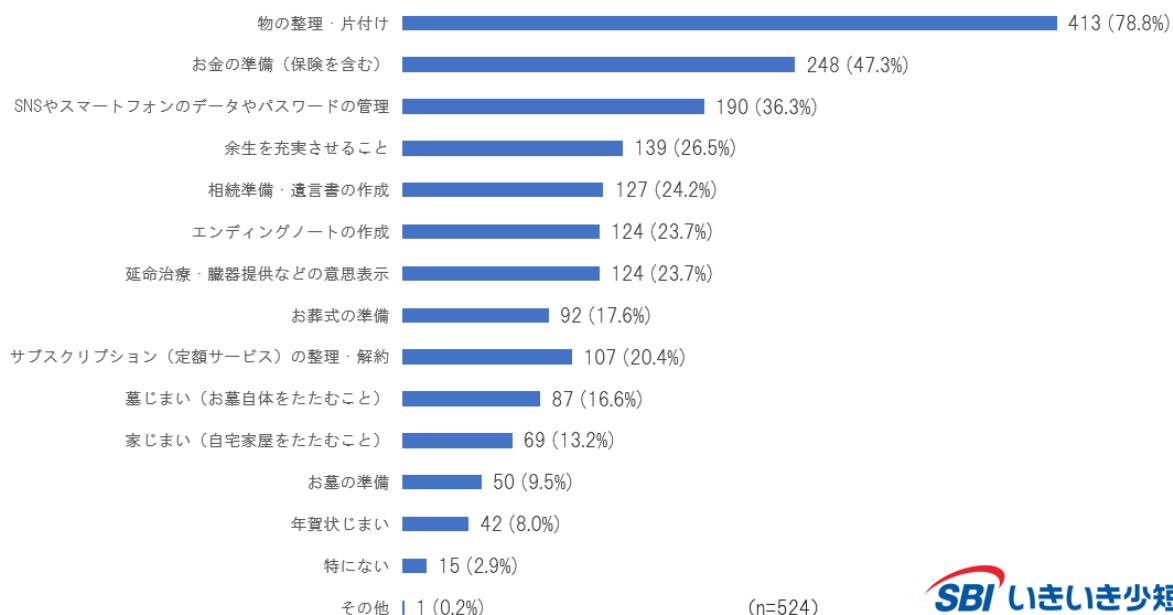


(n=524)

⑪“終活”に取り組んでいない人のうち、“終活”で心配なこと、気になっていること

- “終活”に取り組んでいないと回答した方に、心配なことをうかがったところ、最多は「物の整理・片付け」が約8割となった。

“終活”で心配なこと、気になっていることは何ですか？ [複数回答]



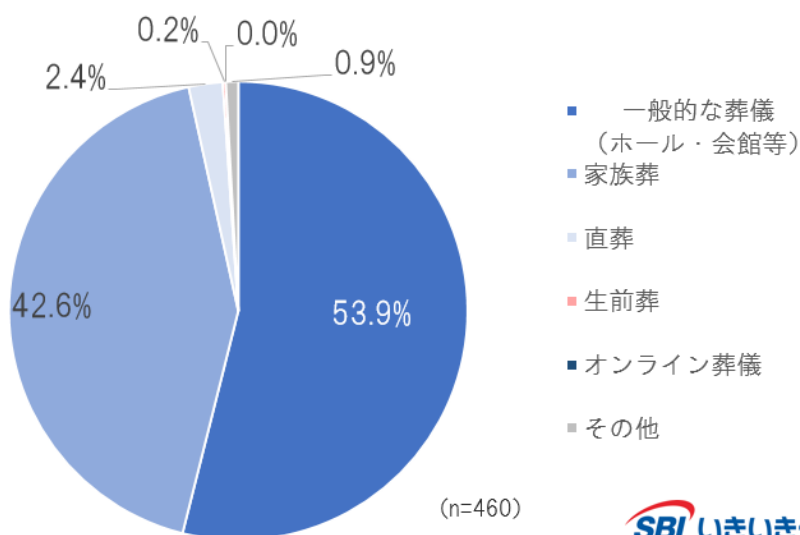
(n=524)

■葬儀（お葬式）について

①執り行ったお葬式の形式

●ご自身または近親者が喪主としてお葬式を執り行った経験があると回答した方に、執り行ったお葬式の形式をうかがったところ、一般的な葬儀が5割超、次いで「家族葬」が約4割となり1位に迫っている結果となった。

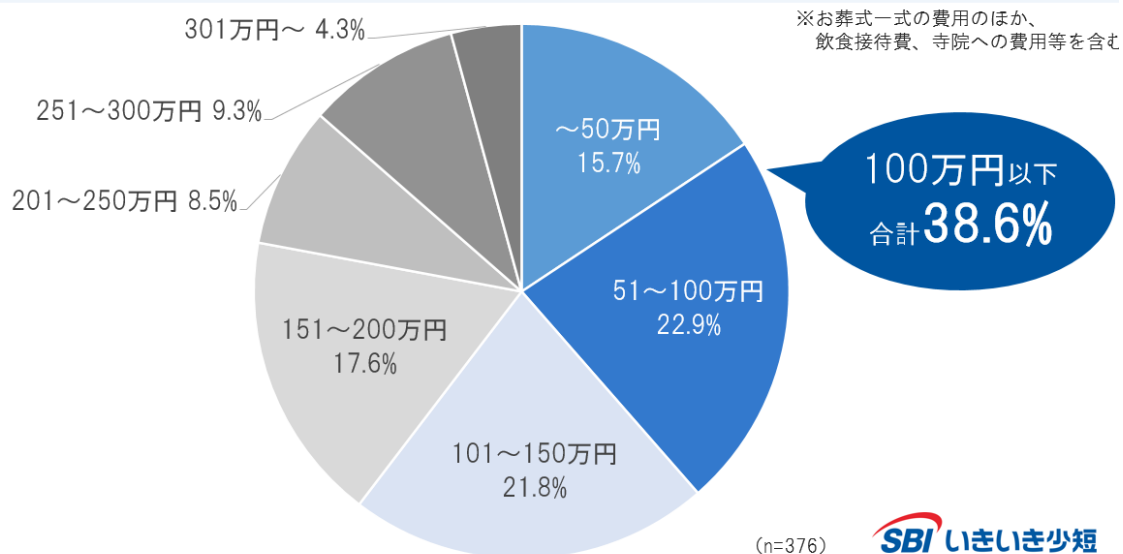
執り行ったお葬式はどのような形式でしたか？（複数ある場合、直近の内容をお答えください）
[単数回答]



②執り行ったお葬式にかかった総額費用

●ご自身または近親者が喪主としてお葬式を執りおこなった経験があると回答した方に、お葬式にかかった費用の総額をうかがったところ「51～100万円」が22.9%で最多となった。次いで「101～150万円」が21.8%となった。

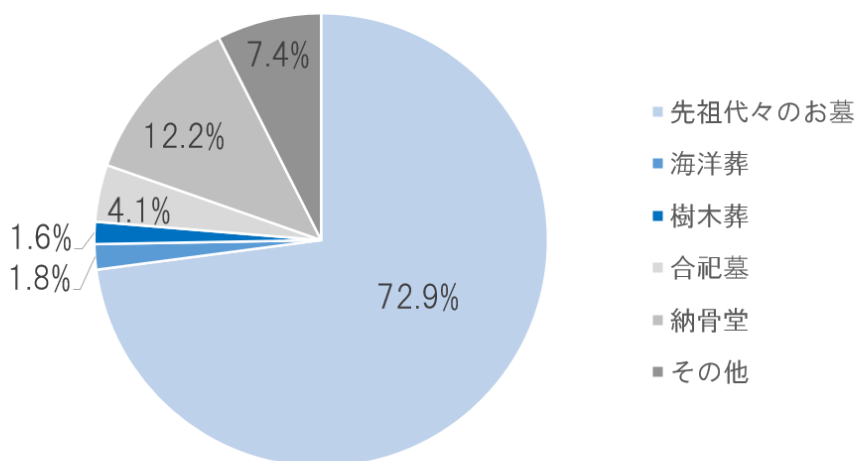
お葬式の費用は総額でどのくらいかかりましたか？当てはまる金額の区分を選択してください。
（複数ある場合、直近の内容をお答えください） [単数回答]



③執り行ったお葬式後の葬送方法

●ご自身または近親者が喪主としてお葬式を執り行った経験があると回答した方に、お葬式後の葬送方法をうかがったところ、約7割が「先祖代々のお墓」で最多となった。「納骨堂、樹木葬、海洋葬、合祀墓」の合計は約2割であった。

葬儀後におこなった葬送はどのような方法でしたか？
(複数ある場合、直近の内容をお答えください) [単数回答]

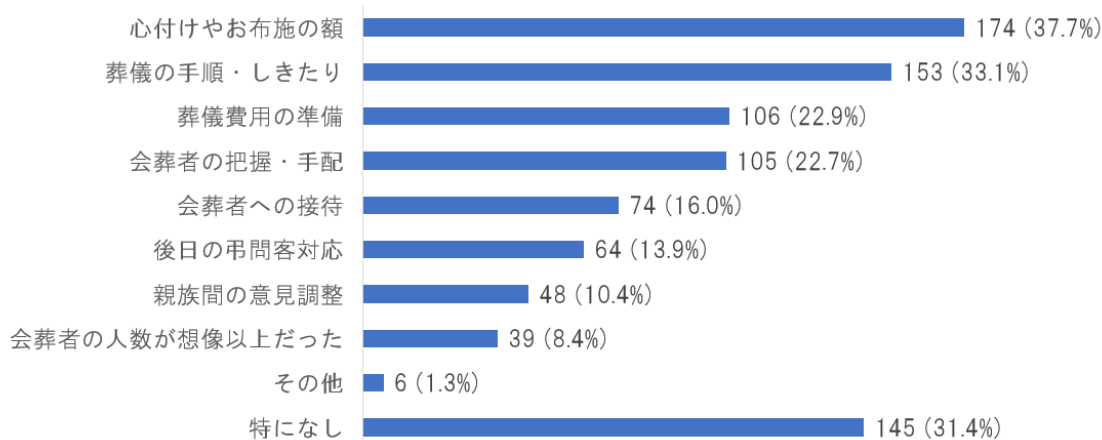


(n=443)

④お葬式を経験して困ったこと

●ご自身または近親者が喪主としてお葬式を執り行った経験があると回答した方に、お葬式を経験して困ったことをうかがったところ、「心付けやお布施の額」37.7%、「葬儀の手順・しきたり」33.1%、「葬儀費用の準備」22.9%となった。

お葬式を経験して困ったことは何ですか？ [複数回答]

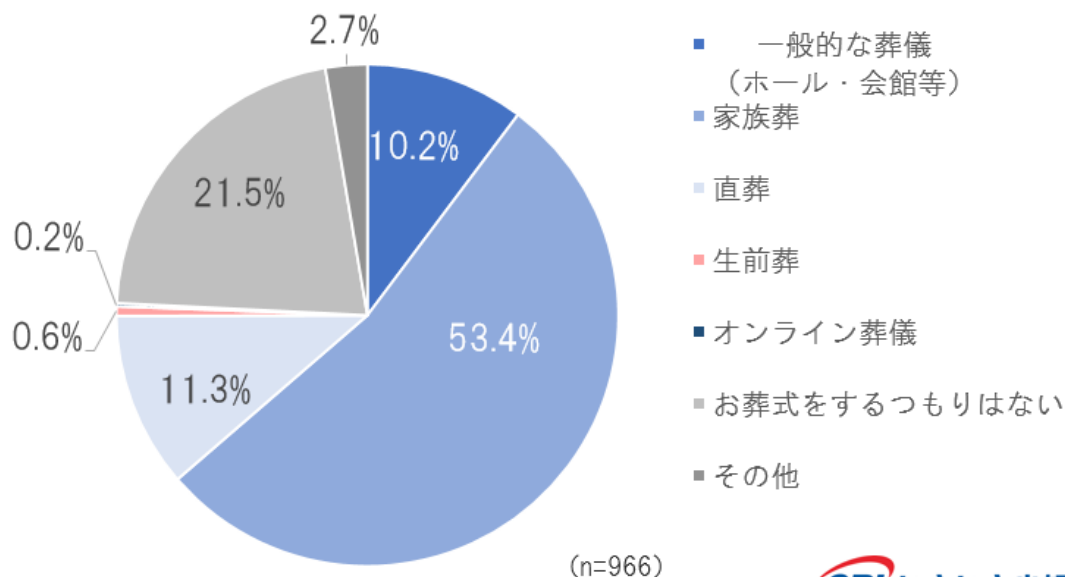


(n=462)

⑤自身のお葬式の希望形式

●自身のお葬式については、2人に1人が「家族葬」を希望。次いで「お葬式をするつもりはない」21.5%、「直葬」11.3%となった。

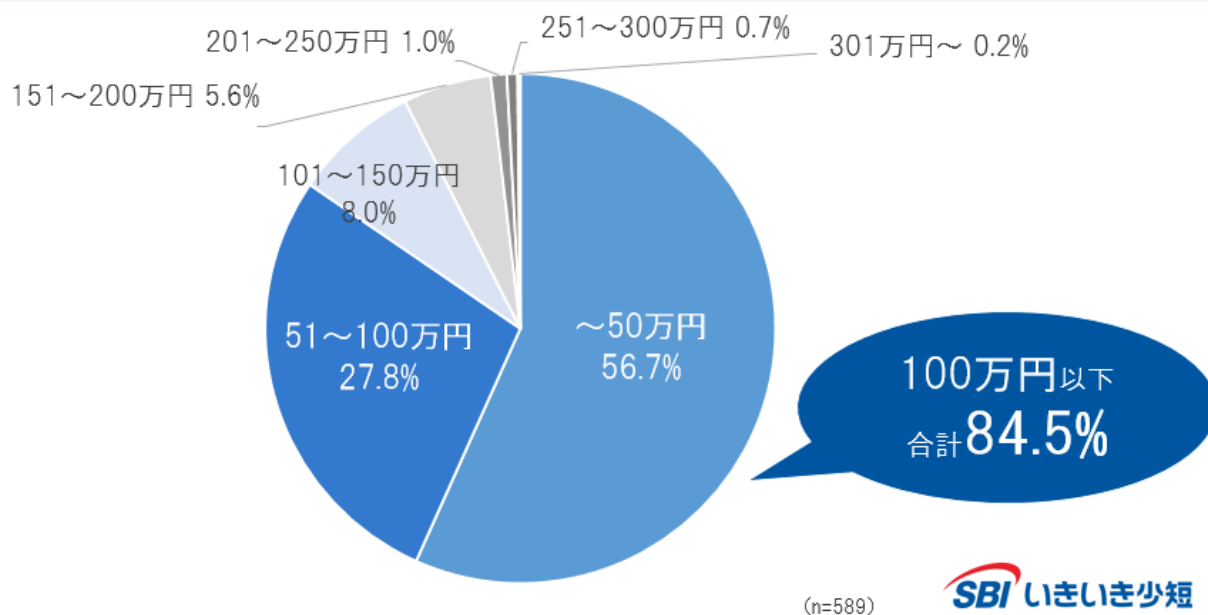
あなた自身のお葬式は、どのような形式を希望しますか？ [単数回答]



⑥自身のお葬式にかかる費用の想定

●自身のお葬式を希望する方に、費用の想定をうかがったところ、「100万円以下」と回答した人は8割超となった。

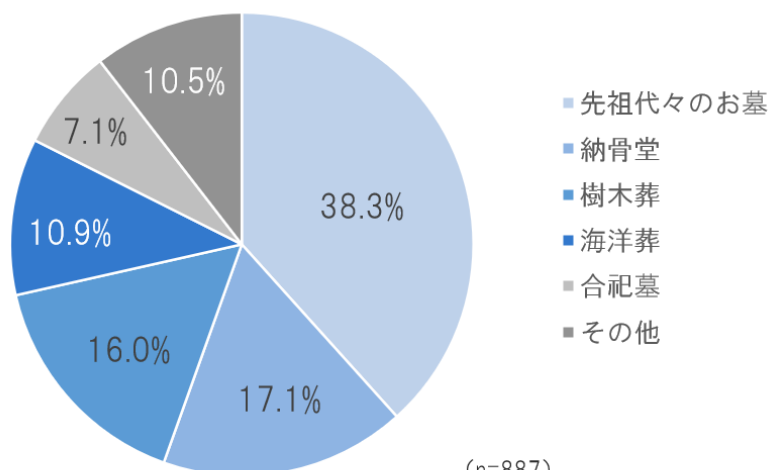
ご自身のお葬式にかかる費用は、どのくらいの金額を考えていますか？ [単数回答]



⑦自身のお葬式後の希望葬送方法

●自身のお葬式後の葬送方法の希望について、「先祖代々のお墓」が38.3%で最多となるが、「納骨堂、樹木葬、海洋葬、合祀墓」の合計が5割を超える結果となった。

あなた自身の葬送は、どのような方法を希望しますか？ [単数回答]



(n=887)